

室内空気分析結果

測定日	2008年12月12日				
空気採取時刻	21:40~22:36	窓開放時刻	20:50~21:30		
DNPH 捕集量 (参考)	60 リットル	TENAX 捕集量 (参考)	4.5 リットル		
室内温度	11.0°C	室内相対湿度	50.0%		
物質名	濃度		物質名	濃度	
	$\mu\text{g}/\text{m}^3$	ppm		$\mu\text{g}/\text{m}^3$	ppm
ホルムアルデヒド	N.D $\mu\text{g}/\text{m}^3$ N.D ppm (井上の式より 25°C、50%の濃度に換算 N.D $\mu\text{g}/\text{m}^3$ N.D ppm)				
アセトアルデヒド	N.D	N.D	アセトン	5	0.0019
アクロレイン	N.D	N.D	プロピオンアルデヒド	N.D	N.D
クロトンアルデヒド	N.D	N.D	ブチルアルデヒド	N.D	N.D
ベンズアルデヒド	N.D	N.D	イソバレルアルデヒド	N.D	N.D
バレルアルデヒド	N.D	N.D	トルアルデヒド	N.D	N.D
ヘキサアルデヒド	N.D	N.D	2,5-ジメチルベンズアルデヒド	N.D	N.D
物質名	濃度		物質名	濃度	
	$\mu\text{g}/\text{m}^3$	ppm		$\mu\text{g}/\text{m}^3$	ppm
ヘキサン	N.D.	N.D.	メチルエチルケトン	4.2	0.0014
エチルアセテート	0.9	0.0002	クロロホルム	N.D.	N.D.
2,4-ジメチルペンタン	N.D.	N.D.	1,2-ジクロロエタン	N.D.	N.D.
1-ブタノール	5.6	0.0018	ベンゼン	N.D.	N.D.
2,4,4-トリメチルペンタン	N.D.	N.D.	ヘプタン	N.D.	N.D.
1,2-ジクロロプロパン	N.D.	N.D.	トリクロロエチレン	N.D.	N.D.
プロモジクロロメタン	N.D.	N.D.	メチルイソブチルケトン	0.9	0.0002
トルエン	16.4	0.0043	オクタン	0.4	0.0001
ジプロモクロロメタン	N.D.	N.D.	ブチルアセテート	1.1	0.0002
テトラクロロエチレン	N.D.	N.D.	エチルベンゼン	2.4	0.0005
m,p-キシレン	1.0	0.0002	ノナン	0.5	0.0001
スチレン	0.3	0.0001	o-キシレン	0.9	0.0002
α -ピネン	189.8	0.0339	3-エチルトルエン	N.D.	N.D.
4-エチルトルエン	N.D.	N.D.	1,3,5-トリメチルベンゼン	N.D.	N.D.
2-エチルトルエン	N.D.	N.D.	デカン	0.8	0.0001
β -ピネン	4.1	0.0007	1,2,4-トリメチルベンゼン	0.4	0.0001
パラジクロロベンゼン	1.0	0.0002	1,2,3-トリメチルベンゼン	2.3	0.0005
D-リモネン	76.8	0.0137	ウンデカン	0.7	0.0001
ノナナール	0.6	0.0001	1,2,4,5-テトラメチルベンゼン	N.D.	N.D.
ドデカン	0.3	0.0000	デカナール	N.D.	N.D.
トリデカン	0.3	0.0000	テトラデカン	N.D.	N.D.
ペンタデカン	18.9	0.0022			
総揮発性有機化合物量	330.6 $\mu\text{g}/\text{m}^3$				
(注1) N.D.は検出されなかったことを示す。(注2) $\mu\text{g}/\text{m}^3$ からppbの換算は、1気圧23°Cで計算する。 (注3) 捕集量が不明なため、捕集量を標準捕集量として計算した。					
厚生労働省の指針値 * 厚生労働省の指針値を超えた濃度 揮発性有機化合物量暫定指針値:400 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ ホルムアルデヒド:100 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ (80ppb)、アセトアルデヒド:48 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ (30ppb)、テトラクロロエチレン:240 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ (39.7ppb)、 エチルベンゼン:3800 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ (870ppb)、キシレン:870 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ (199ppb)、スチレン:220 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ (39.7ppb) パラジクロロベンゼン:260 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ (68.6ppb)、ノナナール:41 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ (7ppb)、テトラデカン:330 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ (40ppb)					

分析結果報告書

測定日		2008年12月12日			
空気採取時刻		21:40~22:36	窓開放時刻	20:50~21:30	
DNPH 捕集量 (参考)		60 リットル	TENAX 捕集量 (参考)	4.5 リットル	
室内温度		11.0°C	室内相対湿度	50.0%	
物質名		単位	測定結果	指針値	温度補正值
アル デヒ ド類	ホルムアルデヒド	$\mu\text{g}/\text{m}^3$	N.D.	100	N.D.
		ppm	N.D.	0.080	N.D.
	アセトアルデヒド	$\mu\text{g}/\text{m}^3$	N.D.	48	—
		ppm	N.D.	0.030	—
V O C 類	トルエン	$\mu\text{g}/\text{m}^3$	16.4	260	—
		ppm	0.0043	0.07	—
	テトラクロロエチレン	$\mu\text{g}/\text{m}^3$	N.D.	240	—
		ppm	N.D.	0.040	—
	キシレン	$\mu\text{g}/\text{m}^3$	1.9	870	—
		ppm	0.0004	0.199	—
	パラジクロロベンゼン	$\mu\text{g}/\text{m}^3$	1.0	240	—
		ppm	0.0002	0.04	—
	エチルベンゼン	$\mu\text{g}/\text{m}^3$	2.4	3800	—
		ppm	0.0005	0.870	—
	スチレン	$\mu\text{g}/\text{m}^3$	0.3	220	—
		ppm	0.0001	0.040	—
	ノナール	$\mu\text{g}/\text{m}^3$	0.6	41	—
		ppm	0.0001	0.007	—
	テトラデカン	$\mu\text{g}/\text{m}^3$	N.D.	330	—
		ppm	N.D.	0.040	—
揮発性有機化合物量 (TVOC)		$\mu\text{g}/\text{m}^3$	330.6	400	—
アルデヒド類捕集器具		Waters 製 DNPH XPOsure Aldehyde サンプラー			
アルデヒド類定量方法		溶媒抽出—高速液体クロマトグラフ法			
VOC類捕集器具		スペルコ製 TENEX TA 捕集管 (Gestel 加熱脱着用)			
VOC類定量方法		加熱脱着—ガスクロマトグラフ質量分析法			
備考					
(1) N.D.は検出されなかったことを示す。					
(2) $\mu\text{g}/\text{m}^3$ から ppm の換算は、1気圧 23°Cで計算する。					
(3) ポンプバッテリー切れにつき、捕集量不明。参考までに捕集量は標準捕集量として計算。					